

議事項目

(1) 作業部会の目的の再確認

- ア 多職種連携研修の企画立案，実施，検証，研修成果の公開
- イ 研修計画の策定
- ウ 他団体の同様の研修開催情報の収集と案内等の支援の方法の策定

(2) 前回部会の発言の要旨 資料2参照

- ・ 目的：多職種連携研修に関する問題意識やキーワードの抽出
- ・ 取組工程に対応させて，会議録を要約した発言内容を分類

(3) 前回依頼した作業

- ① 課題の認識 ～ アンケート調査結果等の詳読
- ② 研修計画の策定
- ③ 研修の企画立案
- ④ 他団体が実施する同様の研修の開催情報の収集と，案内等の支援の方法の策定

(4) 主な意見について

① 多職種連携研修の形態への意見

ア 広範な職種を対象とした研修（比較的大規模）

- ・ 各職種の職務内容・業務範ちゅう・役割・各局面での動き・連携困難な事情の紹介 ～ 相互理解
- ・ 懇親会の必要性～顔の見える関係づくり
- ・ 連携が無理な点の抽出
- ・ 著名な講師や先進地事例の講演の効果の検証，純粹に函館市の連携の問題点を抽出するような研修
- ・ 即実行できるような，実践的な研修
- ・ 函館市医療・介護連携支援センターの役割，存在意義のアナウンス

イ 職種を絞り込んだ研修（比較的小規模）

- ・ 症例検討（IPE，スモールディスカッション，映像利用）
- ・ 医療サイドから介護サイドへ，介護サイドから医療サイドへの理解を進めるそれぞれの研修
- ・ 医療サイド，介護サイドのそれぞれの言い分を聞ける場づくり

② 研修内容の選定に関する意見

- ・ アンケート調査結果の分析による，当部会で取り扱うべき研修課題の抽出の必要性（他部会・分科会の題材との振り分け）

③ 参加職種に関する意見

- ・ 急性期病院の医師，看護師への参加動機付け・参加勧奨の工夫

④ 研修の日程・内容の重複回避の方策に関する意見

- ・ 研修会，勉強会の過多 ～ 年間約25件
- ・ 居宅連協の過去の試行と問題点
- ・ 研修時期の重複回避は困難 ～ 研修内容の住み分けとして，各職能団体は専門分野の研修，市の協議会は多職種連携研修を行うという考え方

(5) 本日の作業・協議

- ① 具体的な研修案について ～ 資料3参照
- ② 作業の役割分担

(6) 次回に向けた作業イメージ

- ① 具体的な研修企画の立案に着手
- ② 作業の役割分担

(7) 参考資料 ～ 資料4参照

- ・ 北海道医療新聞「ルール運用見据え共通理解 北見市」H28.7.1記事